

手稲区タウントーク「あなたの街で市長と語ろう！」

「雪と市民生活」

— みんなで考える、これからのまちづくり —

11月6日、手稲区タウントーク「あなたの街で市長と語ろう！」を開催しました。雪国に暮らす私たちに身近で大きな話題である「雪と市民生活」をテーマとして、除雪に代表される「克雪」、雪を利用する「利雪」、雪と親しむ「親雪」をキーワードに、市民の皆さんとパネリスト、そして市長との間で意見・情報交換を行いました。

市長

自分のため、人のため、地域のためという気持ちを持って、自分たちで活動するといったまちづくりをしていければいいですね。

通学路で砂まきボランティアとして活動されているPTAの方からのご意見

冬の通学路で子どもたちが滑らないように自分の家の前から砂まきをするボランティア活動を昨年から始めました。活動中は自分自身も滑らないような靴を履き、手袋に帽子といった格好をしています。また、雪解けの時期には道路上の砂やごみの清掃もしました。

新保 元康さん

パネリスト



山の手南小学校教諭
教育の場で、雪について積極的に取り上げている

私は、雪についての学習を札幌の子どもたちにもっと広げていくことよって、さまざまな問題の解決の糸口があるのではないかと思っています。冬の生活というのは、ただ生きているということではなく文化です。札幌の教育は、そういう冬の文化や生き方を子どもたちに伝えていくような教育でありたいと思います。



札幌市長 上田 文雄

冬、雪という問題について十分に議論し、皆さんのご意見を札幌市の施策の中に生かしていきたいと思えます。

國井 和夫さん



新発寒地区連合町内会
連絡協議会会長

私たちは、冬に「雪に親しむつどい」を毎年行っています。今年も新発寒地区の7会場で行い、多くの区民が参加しました。このつどいを行っている感想として、子どもは本当に冬でも遊ぶ機会をつくってほしいのだと感じます。ウインタースポーツはいろいろあるのですが、外に出て友達と遊ぶ機会がもう少しあればと思います。今後の活動としては、ただ単に遊ぶばかりではなく、雪について学ぶテーマもとり入れていきたいと思えます。

市長

最近の子どもは家で遊ぶことが多く、大人が外で遊ぶことの快適さをつくっていかねばならないと思えました。

除雪事業者のご家族の方からのご意見

冬期間、深夜でも除雪作業の連絡があれば出勤です。豪雪となると、夫は2、3日泊まり込みです。激務が続くと、寝不足、十分でない食事などで極度の過労状態となります。家族としては、健康状態が非常に心配ですし、私たち家族も寝不足、心労など負担が大きいです。今年も、どうか安全第一で事故のないようにと願っています。